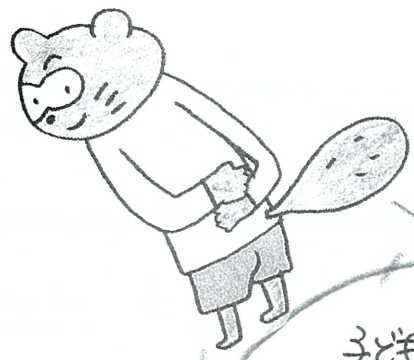


なかまが ほとつしん

R4.9.15



子どもの力を引き出す...

運動会「どきどき」で一緒にする日(=鬼うこ...
その子のできないこと(その子の性質や未発達な部分)
に対して、目指し「ソ、抑しつてソするのではよく、
手はつらにできること(よ、どのようにすればできるよ)に
つよが準備すること、そして「勇気づけ」。
リズム遊びを教えてくれた石木
先生の言葉を大切にしています。

本の大好きな 子どもに...

とく異期には絵本の読み聞かせを
してもらった子どもは、そうでない子どもに
比べて、言語習慣や情緒の安定などの点で
大きく異なっているという調査結果があるそうです。
また、本を好きにするか「よらよいか」は、この頃の
「経験による」ところが大きいようです。ぜひぜひ親子で
絵本を開くという「環境」を大切にしてください。

絵本を通して子どもが感じるさまざまな「心」
こうした心の動きから感動が生まれ、それを繰り返す
ことで「感じる心」が育っていきます。

わねとけソ、
ドキドキソ、喜ソ、
悲ソ、驚ソ、笑ソ、
怖ソ、不思議ソ、
嬉ソ、ホソ...

絵本のココがスゴイ!!

- ・イメージ、想像力の醸成
- ・思いやり、愛情、豊かき感情など心を育てる
- ・表現力が養われる
- ・注意力、集中力が身につく
- ・思考力、読解力がつき、ひいては数学、科学、問題解決「どき」
全ての学力の基礎となる
- ・未知への出会いで、知的好奇心が育まれ、知識、知恵がつく
- ・絵本を通して、社会的常識や生きていく上での教訓
などが得られる



薄着のすすめ...

虫の声を聴こえるように
なつて涼しさも?? 日中は
まだまだ... よく動く子どもたち
は、たくさん汗をかいています。

薄着がよい 4つの理由

1. 自律神経が鍛えられる
2. 思いきり本を動かせる
3. 画柄をひきにくくなる
4. 寒さに強くなる

急にすると逆効果になります。
ちょっとずつ、段々と慣らして
いきましょ。



どうして 健康な体が作れる?

人の皮膚には、身内の内部の
保護とともに、外の温度を即座に
脳に知らせ、体内の温度を一定に保
とうとする働きがあります。

暑ければ汗をかいて体内の余分な熱を散发させ、
体温を下げようとします。寒い時(お逆)に皮膚の血管
を収縮させて熱を逃がさないようにします。
このように敏感に「暑い」とか「寒い」という刺激を受ける
ことで、自律神経がバランスよく発達していくのです。
そうすると免疫力も強くなって、「病気にたよりにくい
健康な体」にたよっていくのです。